

# 2025 年度事業報告

自：2025年1月1日～至：2025年12月31日

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

## I. 総括

本年度は、2025 年スペシャルオリンピックス(SO)冬季世界大会トリノへの日本選手団派遣事業や 2026 年夏季ナショナルゲーム・東京開催準備等のスポーツ事業を中心に実施すると共に、各事業の実施を通じてビジョン推進における重要施策であるユニファイドスポーツ®の普及推進、多様なアスリートの参加促進に注力した。また、国際的な SO コーチ資格制度の変更に伴い、国内のコーチ資格制度の大幅な改定や研修内容の検討を図り、SO 国際規格に応じた指導者養成制度の充実を図ることができた。なお、2025 年は、「アクションプラン 2021-2025」の最終年度のため、同アクションプランの振り返り評価を行い、次期計画である「アクションプラン 2026-2030」の策定につなげた。

### 【SON のミッション、ビジョン】

#### <ミッション>

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。

#### <ビジョン>

スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人々とのスポーツを通じた様々なユニファイド活動により、多くの気づきと行動を生み出します。

ステイトメント: 多様な人々が生きる社会の実現を目指す

スローガン: 「Be with all」

**※本ビジョンを推進する事業を「Be with all 事業」と称する。**

### 【アクションプラン 2021-2025】

#### ①事業

##### <イノベーション事業>

- ・“Be with all”の普及促進
- ・ICT を活用した事業推進

##### <スポーツ事業>

- ・スポーツ活動の充実
- ・持続可能な競技会/大会の開催

#### ②組織

- ・組織全体の適正なガバナンスの確保と最適な新組織体制の構築
- ・国内 SO 組織の再定義

#### ③経営

- ・経営、財務資源の最適化
- ・人材マネジメント

## II. 競技会開催事業

### 1. 2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームの開催準備

本大会は、アクションプランに基づく持続可能な競技会・大会開催に向けての取り組みとして、分散形式の開催とし、自治体、関係団体等との連携を図りつつ、ナショナルゲームのモデルとなるような大会づくりをめざし、準備を進めた。なお、本大会は2027年スペシャルオリンピックス夏季世界大会への日本選手団選考を兼ねている。

## III. 国際大会への代表選手団の派遣事業

### 1. 2025年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ派遣

イタリア共和国のトリノで2025年スペシャルオリンピックス冬季世界大会が開催され、日本選手団56名を派遣した。また、国内での事前活動を実施した。なお、本事業についてはスポーツ庁の国庫補助金事業として、公益財団法人日本パラスポーツ協会より受託した事業である。

#### 【大会概要】

大会名称：2025年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ

(英語表記: Special Olympics World Winter Games 2025)

開催地：イタリア共和国(トリノ)

開催時期：2025年3月8日(土)～3月15日(土)

- 競技：3月8日～15日
- 開会式：3月8日
- 閉会式：3月15日

参加者：100カ国より

- アスリート・ユニファイドパートナー 1,500名
- ボランティア 2,000名

実施競技：8競技 ※SO日本選手団はダンススポーツを除く7競技に派遣

アルペンスキー、スノーボード、クロスカンリースキー、スノーシューイング、フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート、フロアボール(ユニファイドスポーツ®)、ダンススポーツ

日本選手団：合計56名

- アスリート・ユニファイドパートナー 32名(アスリート28名・ユニファイドパートナー4名)
- コーチ、役員、選手団スタッフ(医師、看護師、理学療法士含む) 24名

本大会派遣に向け、以下の活動を実施した。

日程	活動	開催地
1月18日(土)	コーチミーティング	オンライン
2月8日(土)～10日(月)	合宿：チーム競技(フロアボール)	埼玉県
3月5日(水)	出発	
3月8日(土)～15日(土)	練習、予選、開会式、決勝、閉会式	イタリア共和国(トリノ)
3月18日(火)	帰国、解団式	

#### IV. 知的障害者の地域スポーツ活動振興の拠点となる地区組織等への支援事業

##### 1. 地区連絡協議会、スポーツプログラム委員会全国会議の開催

全国代表者会議(地区連絡協議会及びスポーツプログラム委員会全国会議)をオンラインで開催し、これらの会議を通じて、SON の事業方針を地区組織に共有するとともに、基調講演を通じて、知的障害者の権利擁護意識を高める機会を提供した。

###### 【開催概要】

日 程：4月19日(土)

参加者：地区連絡協議会 170名

-基調講演:「権利擁護とは?～知的障害者の尊厳を考える～」

スポーツプログラム委員会全国会議 119名

開催形式：オンライン

##### 2. 地区組織の認定及び更新

各地区組織から提出された2024年度事業報告・決算報告、2025年度事業計画・予算等の総会資料を精査するとともに、世界共通で行われているアスリート活動調査等の提出をもって地区組織の認定更新を行い、認証状を交付した。また、地区組織認証基準について検討を開始したほか、スポーツ団体ガバナンスコードの地区組織における取り組みの推進に向けた準備を進めた。

###### 【アスリート統計調査結果(前年)】

アスリート:7,653名(7,766名) / ユニファイドパートナー:1,140名(897名)

ボランティア:9,317名(10,283名) / コーチ:4,916名(4,728名) / 大会・競技会数 169回(206回)

※詳細は以下 URL(SON ホームページ)を参照

<https://www.son.or.jp/son-info/statistics/>

##### 3. 地区組織強化支援、地区組織自己評価基準の運用

約30項目の評価基準で地区組織自らが組織の評価を行い、組織的な成熟度や活動の進達状況を客観的に把握するために本年も自己評価を実施した。また、自己評価基準の実施・運用にあたり、地区組織の活動の成果を称えることを目的として下記の通り地区組織を表彰した。

表彰の種類	地区組織	活動内容
ユニファイド活動賞	SON・広島	SON・広島設立25周年記念『大運動会』
継続努力賞	SON・鳥取	二つの「全日本大会」にボランティアとして、選手として参加

##### 4. SON データベースの整備

SO 国際本部が提唱する、アスリート及びユニファイドパートナーの個人データの一元管理を行うために「SON データベース」を整備した。本データベースの整備は、SO 国際本部に加盟する全世界の SO 組織が共通して取り組むもので、意思決定の質の向上や支援の継続性確保を目的として、将来的な業務効率化やセキュリティ・プライバシー保護、正確なデータ活用を見据えて実施した。

###### 【SON データベース登録状況】

アスリート:6,001名 / ユニファイドパートナー:208名

合計:6,209名(2024年度センサス比71%)

## 5. ブロック幹事連絡会及びブロック連絡協議会の開催

### <ブロック幹事連絡会>

全国6ブロックの代表者によるブロック幹事連絡会を隔月でオンラインにより開催した。

本連絡会は、SONと地区組織・ブロック間のコミュニケーションを図ることを目的としており、各回のテーマ及び時宜に即したトピック等を議題として意見交換や情報共有を行った。定期的なコミュニケーションの機会を通じ、SONと地区間のコンセンサスを図るとともに、ブロック代表者が理解を深めながらブロック内の地区組織への情報展開や共有に努めた。

### <ブロック連絡協議会>

ブロック内の地区組織事務局及びスポーツプログラムに関する代表者が出席するブロック連絡協議会に、上半期、下半期の年2回出席し、SONの事業方針や地区組織における課題などについて意見交換を行った。これによりSONと地区組織間のコミュニケーションを円滑にするとともに、実践に基づく現場の知識・ノウハウの共有が図られ、全国ネットワークにおける情報共有と地区組織の現場における活動推進力が強化された。

ブロック名	上半期ブロック会議	下半期ブロック会議
北海道・東北ブロック	4月19日(土)	11月29日(土)
関東ブロック		11月8日(土)
東海・北信越ブロック		12月7日(日)
近畿ブロック		12月13日(土)
中国・四国ブロック		11月10日(月)
九州・沖縄ブロック		12月7日(日)

## 6. スポーツプログラム(SP)委員会及び競技部会活動

SP委員長会議等の定期開催及び各競技部会の活動を通じて、国内のスポーツプログラムや競技会・大会事業等の充実と普及を図った。また、2026年夏季ナショナルゲームに向けての競技運営体制等を整備し、事前準備に取り組んだ。

## 7. 助成(スペシャルオリンピックス地域活動振興助成)

- 1) 2025年度事業の助成については、報告書類一式を受領し精査した結果、9地区組織12事業に対し、総額2,103,000円を交付することとした。

No.	地区	事業名	事業概要
1	滋賀	SO香港交流事業	SO香港バドミントンチームとの交流、合同練習、大会招待
2		コーチ・ボランティア・アスリートの新規獲得のための広報事業	ポスター制作、公共交通機関(バス)での車内掲示
3	岩手	ヤングアスリートプログラム立上げ事業	ヤングアスリートプログラムの立ち上げ準備
4	鳥取	広報・啓発事業	活動紹介パンフレットの作成、配布
5		スポーツ・健康増進推進事業	ユニファイドスポーツ®体験交流会の開催
6	新潟	25周年に向けた組織体制強化事業 (内部統制の強化事業)	規程整備等のリスクマネジメント対応
7		25周年に向けた組織体制強化事業 (新規アスリート、ボランティア等獲得のための広報・啓発事業)	活動紹介動画、チラシ刷新、体験会・説明会の実施
8	熊本	広げようユニファイド ～学生とつながるスペシャルオリンピックス～	ユニファイド競技会の実施
9	千葉	2025年度第3回スペシャルオリンピックス日本・千葉地区大会	ユニファイドをメインとした地区大会の実施
10	長崎	事務局書類のデータ化と共有化、 諸会議のオンライン化等とその指導と機器の整備	事務局内のIT関連機器やシステム整備
11	岡山	創立20周年記念 行事・式典・記念イベント・岡山競技大会合同開会式	記念式典、地区競技会合同開会式、地区競技会の開催
12	京都	地域活動拡大事業	協力団体等のイベントへ参加、チラシ等の広報ツール制作

- 2) 2026年度事業の助成として、11地区組織から計14件の申請を受け付け、選考基準に基づき審査を行った結果、10地区組織11事業へ助成することを理事会で決議した。

## V. 知的障害者のスポーツ参加及び健康増進推進事業

### 1. ユニファイドスポーツ®

#### 1) ユニファイドスクール

小学校から大学までの教育機関と連携し、以下の6校でユニファイドスクール事業を実施した。

本事業では、10時間以上で構成されるユニファイドスクール授業モデルに基づき、SO独自の取り組みや、ユニファイドスポーツ®(バスケットボール3x3、フロアボール)を題材として授業を展開した。工夫次第で、障害の有無や運動経験、技能の差にかかわらず、誰もが共にスポーツを楽しむことを体験的に学ぶ機会を提供し、「インクルージョン社会の実現」に向けた学びを深めることに繋げた。

学校名	学年	人数 (内・特別支援学級)	時間数
川崎市立南原小学校	4学年	39名(1名)	20時間
豊田市立野見小学校	4学年	72名(3名)	10時間
豊田市立青木小学校	5学年	126名(2名)	11時間
豊田市立足助小学校	5、6学年	27名(2名)	12時間
下関市立桜山小学校	4学年	27名(4名)	10時間
よしみ小中学校 下関市立吉見小学校	6学年	30名(3名)	21時間

#### <ユニファイドチャンピオンスクール認定校>

長野県駒ヶ根市立中沢小学校が、SO国際本部の定める要件を満たしたため、国内で初めての「ユニファイドチャンピオンスクール」として認定した。これを受け、同校体育館にて認定式を実施し、認定証及び横断幕を授与した。認定式後には、中沢小学校PTA主催によるフロアボール体験会も併せて実施した。

#### 【実施概要】

- 日程 : 10月17日(金)
- 会場 : 長野県駒ヶ根市立中沢小学校 体育館
- 参加者数: 約140名(全校児童、伊那養護学校はなももの里分教室の全児童、保護者、先生)
- 実施内容: 児童のリーダーによるSOやユニファイドスポーツ®の活動紹介、ユニファイドチャンピオンスクール認定・横断幕授与、ユニファイドフロアボール体験

#### 2) ユニファイドスポーツ® アクティブセミナー2025

ユニファイドスポーツ®に関するアクティビティ体験や、より詳しく理解していただくための講演や実技、演習など、ユニファイドスポーツ®の普及を目的にセミナーを開催した。

#### 【開催概要】

- 日程: 11月29日(土)~30日(日)
- 会場: 愛知県豊田市「つどいの丘」
- 参加者数: 144名(1日目: 99名、2日目: 45名)

### 2. 多様なアスリートの参加促進

#### 1) ヤングアスリートプログラム

幼児期の子どもたちを対象にしたヤングアスリートプログラムの国内における普及を目的に、ヤングアスリート体験会&コーチクリニックを以下の通り、計3回実施した。

**【開催概要】**

<p>ヤングアスリート体験会 &amp; コーチクリニック in 埼玉</p>	<p>日程: 5月31日(土)          会場: あげお富士住建ホール(埼玉県上尾市)          参加者数: 計43名          - コーチクリニック: 21名          - 体験会: 子ども12名、保護者5名、アスリートボランティア4名、ファミリー1名          協力: SON・埼玉</p>
<p>ヤングアスリート体験会 in たらこや(神奈川)</p>	<p>日程: 6月7日(土)          会場: 放課後等デイサービスたらこや (神奈川県横浜市)          参加者数: 計9名(子ども4名、保護者5名)          協力: 放課後等デイサービスたらこや</p>
<p>ヤングアスリート体験会 &amp; コーチクリニック in 島根</p>	<p>日程: 10月4日(土)          会場: 島根県立大学松江キャンパス体育館(島根県松江市)          参加者数: 計55名          - コーチクリニック: 25名          - 体験会: 子ども13名、保護者13名/見学: 4名          協力: SON・島根、公立大学法人島根県立大学</p>

2) SO Girls Festival

国連の定める国際ガールズデーを記念し、女性アスリートや女性コーチの参加促進を目的として、SO Girls Festivalを開催した。

**【開催概要】**

日程 : 10月11日(土)  
 会場 : 東京都内 体育館  
 参加者数: 延べ118名  
 実施内容: 【午前の部】コーチクリニック(競技チア/陸上競技/フロアボール)/講演会  
 【午後の部】スポーツ体験会(競技チア/陸上競技/フロアボール)/メドフェスト(健康チェック)受診

**3. ヘルスケアの啓発と実践**

スポーツウェルネス委員会にて、従来のヘルス分野に加え、メディカル分野の充実を図った。また、ヘルシー・アスリート・プログラムの1部門である Medfest を以下の通り実施し、アスリートの医療安全の充実を図った。

※ Medfest とは

HAP の一部門であり、メディカルフォームを基にスクリーニングを行い、アスリートやユニファイドパートナーがスポーツを安全に行えるかどうかの確認を行う。Medfest はアスリートやユニファイドパートナーの入会時のメディカルフォーム及び世界大会のエントリーフォームとしても採用されている。

**【開催概要】**

<p>メドフェスト in 熊本地区大会</p>	<p>日程: 9月28日(日)          会場: 西原村総合体育館(熊本県阿蘇郡)          参加者数: 44名(アスリート44名)          運営者数: 19名(医療従事者ボランティア、熊本総合医療リハビリテーション学院学生ボランティア)</p>
-------------------------	--

メドフェスト  
in SO Girls Festival

日程:10月11日(土)  
会場:ヤマトフォーラム(東京都大田区)  
参加者数:21名(アスリート15名、ユニファイドパートナー6名)  
運営者数:23名(医療従事者ボランティア、順天堂大学学生ボランティア)

#### 4. 医療安全の充実

##### 1) 医療安全の充実、次世代人材の確保・育成

専門委員会スポーツウェルネス委員会を通じて、アスリートやユニファイドパートナーを始めとするSO関係者が安全にスポーツ活動を行えるよう医療安全面での充実を図った。また、大学医学部やSO活動経験を持つ医療従事者との連携を図ると共に、次世代の人材確保や育成に取り組んだ。

##### 2) ウォーミングアッププログラムの普及

メディカル部会によるフロアボールウォーミングアッププログラムの普及

### VI. ボランティア、指導者、審判員等育成事業

#### 1. 指導者養成

##### 1) コーチクリニック

ボランティアコーチの育成と既存トレーナーのレベル及びスキルアップを目的として開催した。

・コーチクリニック競技実技(対面): 74回開催(32地区) / 参加者 939名

※競技座学はオンデマンド(YouTube 動画視聴)で実施

##### 2) コーチアカデミー

コーチの専門性向上とユニファイドスポーツ®の普及を目的に、バスケットボール 3×3、フィギュアスケート、テニスのコーチアカデミーを以下の通り、実施した。共通項目研修ではSOの基礎理念である「プレーヤーセントダードコーチング」をテーマにアスリート、ユニファイドパートナーを中心に置く指導のあり方を、競技別研修では各競技の特性に応じた実技や運営スキルを学んだ。

#### 【開催概要】

開催地	日程	会場	競技/内容	参加者人数 (延べ)
熊本県	6月22日(日)	熊本保健科学大学 新アリーナ	バスケットボール 3×3	30名
滋賀県	7月26日(土)	におの浜ふれあいスポーツセンター	バスケットボール 3×3	29名
広島県	7月27日(日)	新市スポーツセンター	バスケットボール 3×3	18名
東京都	8月24日(日)	帝京科学大学 千住キャンパス	バスケットボール 3×3	49名
新潟県	8月31日(日)	新潟ふれ愛プラザ	バスケットボール 3×3	33名
長野県	11月3日(月)	風越公園アイスアリーナ	フィギュアスケートアイスダンス・ペア	24名
愛知県	11月29日(土)	つどいの丘	バスケットボール 3×3	12名
愛知県	11月30日(日)	つどいの丘	テニスダブルス	9名
オンライン	12月3日(水)	Zoom(オンライン会議システム)	プレーヤーセントダードコーチング理解	225名

### 3) コーチ研修制度の改定

9月より、従来の「認定コーチ」の更新制度を廃止し、所定要件を満たすことで更新不要の資格として付与するディプロマ制度を導入し、指導者養成制度の大幅な改定を行った。

## 2. スポーツプログラム委員会全国会議

各地区組織からスポーツプログラム委員会の代表者が参加し、昨年度のSONスポーツ事業の報告及びコーチ研修制度の新制度の運用、競技会の活性化等について説明を行った。

### 【開催概要】

日 程：4月19日(土)

参加者：119名

開催形式：オンライン

## Ⅶ. 広報・啓発事業

Be with all 事業やナショナルゲーム開催事業、世界大会の派遣事業等様々な広報・啓発活動を通じて、スポーツの可能性や社会との連携の可能性を積極的に発信し、様々なステークホルダーを巻き込んだ活動を実施した。また、アスリートアンバサダーによる広報活動を実施した。

### 1. 広報・啓発

#### 1) Be with all 事業における他団体・企業連携等

Bリーグや企業などとの連携イベント開催等による”Be with all 事業”を積極的に展開した。

#### ① B.LEAGUE Hope との連携

##### 【Challenge with ALL プロジェクトの取り組み】

- 5月24日(土)りそなグループ B.LEAGUE FINALS 2024-25 において開催された「B.Hope ACTION UNIFIEDSPORTS® BASKETBALL GAME」に SON・東京と SON・愛知のアスリート、ユニファイドパートナー、コーチが参加し、ゲーム等を通じて、Be with all、ユニファイドスポーツ®の意義などについて PR した。
- 地区組織と Bリーグクラブチームが連携し、バスケットクリニック、スポーツ体験会や PR 活動等を実施した。

<Challenge with ALL の参加地区組織と Bリーグのクラブチーム>

地区組織	Bリーグクラブチーム
SON・北海道	レバンガ北海道
SON・秋田	秋田ノーザンハピネッツ
SON・福島	福島ファイヤーボンズ
SON・東京	アルバルク東京
	アースフレンズ東京Z
SON・新潟	新潟アルビレックス BB
SON・富山	富山グラウジーズ
SON・愛知	三遠ネオフェニックス、シーホース三河、 ファイティングイーグルス名古屋、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
SON・京都	京都ハンナリーズ
SON・広島	広島ドラゴンフライズ
SON・沖縄	琉球ゴールデンキングス

## ② 企業・団体連携

- 第1回トヨタサマー・SON ショートトラックスピードスケート大会へアスリートが参加

### 【開催概要】

日 程: 2025年7月19日(土)、7月20日(日)

開催場所: 中京大学アイスアリーナ(オーロラリンク)

参加者数: SON・東京、栃木、神奈川、愛知のアスリート10名

トヨタ自動車スケート部8名、中京大学スケート部5名、他3名

実施内容: 中京大学スポーツミュージアム見学、公式練習、大会、交流会

## 2) アスリートアンバサダー事業

アスリート自身が広報活動を行う「アスリートアンバサダー事業」は第5期を迎え、計5名のアスリートアンバサダーが活動を展開した。第5期の取り組みでは、SON パートナー企業・団体など、多様なステークホルダーとの協働や連携を強化し、現場での活動機会の創出をこれまで以上に推進した。また、ラジオ DJ であり、SON 広報プロジェクトアンバサダーでもあるやまだひさし氏と連携し、SO 活動や魅力を発信した。

## 3) 映像作品 Special Movie ALIVE #2

2023年の「Be with all」を表現した映像作品“Special Movie ALIVE #1”に続き、映画監督の早川千絵氏と Aoi Pro.制作チームと協働しトリノ世界大会に出場した日本選手団/フロアボールチームのアスリートとパートナーの姿を通して SO 独自の取り組みであるユニファイドスポーツ®を描いた ALIVE シリーズ 2 作目を制作・公開した。

## 4) 2025年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ

- SO 日本選手団・特設サイトを制作し情報を発信
- アルバルク東京・SO デーでの PR 活動
- トヨタ自動車の支援を受け、朝日新聞にて、訴求力の高い効果的なPRを実施
- 現地でアスリートやコーチの大会への意気込みや試合後の感想をやまだひさし氏が取材し、「Fromトリノ」というタイトルで大会期間中音声で発信
- STV ラジオにおいて、特別番組『一般社団法人日本ライオンズ presents やまだひさしが語る スペシャルオリンピックスの世界 ～トリノを目指した北海道アスリートを追いかけて～』を放送し、トリノ大会を中心に SON の事業を幅広く発信

## 5) TOKYO FM で SON 番組「5分では伝えきれないスペシャルオリンピックスの世界」を開始

2025年7月から、TOKYO FM で毎週月曜日～木曜日 20:55～21:00 の5分間番組をスタートした。

多様な人々が理解し合い共に生きる社会のために”スペシャルオリンピックス”をもっと身近にしていきたいという意図のもと、ラジオ DJ で SON 広報プロジェクトアンバサダーであるやまだひさし氏がパーソナリティーを務め SO にかかわる様々な方々をゲストに迎え、その楽しさや魅力、現状などをあらゆる角度からお伝えする番組を開始

## 6) 2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京

### ①大会ビジュアルの制作・公開

### ②「SO”ジャーニーMap”」企画の実施

SON のパートナー企業各社とアスリートが「アスリートが社会を知り、社会がアスリートを知る」さまざまな協働イベントを創り上げていく、大会の軌跡を描く「SO”ジャーニーMap”」企画し、取り組んだ。

## 2. 資金調達(寄付協賛・マーケティング)

Be with all 事業を軸に、今後につながる資金調達活動を実施した。

### 1) 主なパートナー企業

- ナショナルパートナー 7 社
- プレミアスポンサー 7 社 ※新規 1 社
- フレンドシップスポンサー 6 社

### 2) 主な寄付活動

東京マラソン 2025 チャリティへの参加（東京マラソン 2025 開催日：3 月 2 日）

東京マラソン 2025 チャリティの寄付先団体として選定され、159 名が SON のチャリティランナー（寄付者）として参加いただいた。

## 3. 他団体との連携

### 1) 教育機関との連携

#### ① 中京大学

来田ゼミの学生が、ゼミのテーマとして、SON 及び地区組織の活動に年間を通じて参加し、秋学期には、ユニファイドスクール事業の一環で、豊田市立野見小学校及び豊田市立青木小学校の授業の一部を担当した。

#### ② 順天堂大学

- スポーツ医科学やパラスポーツ及び特別支援教育の研究推進の分野等における連携推進
- 2025 年 SO 冬季世界大会・トリノ日本選手団帯同、HAP・メドフェストへのボランティア参加
- SON 職員による特別講義とフロアボール体験

### 2) SO アジアパシフィックとの連携

- 7 月 7 日(月)～9 日(水) SO アジアパシフィックリージョナル アスリート&ユースリーダーシップ委員会への参加
- 10 月 24 日(金)～26 日(日) SO アジアパシフィックリージョナル リーダーシップカンファレンスへの参加

### 3) 競技団体等との連携

大会やイベントで各競技団体等と相互連携を図った。

## Ⅷ. 調査研究事業

### 1. 設立 30 周年記念シンポジウム開催

1 月 25 日(土)に、設立 30 周年記念誌の内容を基にしたシンポジウムを開催するとともに、SON パートナー企業に対する企業表彰を実施した。

#### 【開催概要】

開催日 : 2025 年 1 月 25 日(土)13:00～15:45  
会場 : ロイヤルパークホテル(日本橋)  
テーマ : 『Be with all®を実現するために ～スペシャルオリンピックスが創造する共生社会～』  
実施内容 : SON パートナー企業表彰、シンポジウム、パネルディスカッション  
参加者 : 84 名

### 2. 研究発表等

2023 年に地区組織を対象に行ったユニファイドスポーツ®に関するオンライン調査を基に、研究報告「ユニファイドスポーツ®の実態と課題」をまとめ、日本生涯スポーツ学会「生涯スポーツ学研究 (Vol.22 No.1 2025)」に発表した。

## XI. 会議開催等

### <評議員会>※対面及びオンラインのハイブリッド開催

定時評議員会	日時：3月14日(金)10:30~11:45	場所：航空会館ビジネスフォーラム 502号室※
臨時評議員会	日時：9月18日(木)10:00~11:30	場所：SON 事務所※

### <理事会>※対面及びオンラインのハイブリッド開催

第1回理事会	日時：2月20日(木)18:30~20:25	場所：SON 事務所※
第2回理事会	日時：3月14日(金)12:00~12:45	場所：SON 事務所※
第3回理事会	日時：5月21日(水)18:30~20:20	場所：SON 事務所※
第4回理事会	日時：8月6日(水)18:30~20:20	場所：SON 事務所※
第5回理事会	日時：11月5日(水)17:00~18:10	場所：SON 事務所※
第6回理事会	日時：12月12日(金)18:30~20:00	場所：SON 事務所※

### <専門委員会等>

#### ・スポーツウェルネス委員会

メドフェストを下記の日程で開催した。

- SON・熊本地区大会 9月28日(日)
- SO Girls Festival 10月11日(土)

#### ・スポーツプログラム委員会

Web 会議システムを使用して、スポーツプログラム委員会正副委員長会議を下記の日程で開催した。

2月15日(土)、7月12日(土)、10月4日(土)、11月29日(土)

#### ・アスリート・ユースリーダー委員会 ※2025年設立

Web 会議システムを使用して、アスリート・ユースリーダー委員会を下記の日程で開催した。

5月17日(土)、8月23日(土)、10月11日(土)、12月20日(土)

#### ・調査研究委員会

Web 会議システム等を使用して、調査研究委員会を下記の日程で開催した。

2月26日(水)、6月18日(水)、7月15日(火)、9月24日(水)

対面会議:8月29日(金)、11月28日(金) 場所:SON 事務所

#### ・ブロック幹事連絡会

Web 会議システムを使用して、ブロック幹事連絡会を下記の日程で開催した。

5月22日(木)、7月17日(木)、9月18日(木)、11月20日(木)

#### ・コンプライアンス委員会 ※2025年設立

Web 会議システムを使用して、コンプライアンス委員会を下記の日程で開催した。

10月14日(火)

### <研修>

以下の研修の実施により、役職員及び関係者の情報管理意識や法令遵守への理解を深めるとともに、インテグリティの向上を図り、安心安全な活動環境の維持に向けた共通理解を促進した。また、組織運営に伴うリスクについて学ぶ機会ともなり、公益活動を安定的かつ適正に推進するための基盤整備及び法人運営体制の充実に寄与する取組となった。

- ・情報セキュリティ研修  
日 程: 9月1日(月)~9月30日(火)  
実施形式: eラーニング  
対象者・参加者数: SON 職員・20名  
SON 専門委員会委員・6名(受講希望者)  
SON 地区組織関係者・24名(受講希望者)
- ・コンプライアンス研修  
日 程: 10月2日(木)  
実施形式: Zoom ウェビナー(オンライン)  
対 象 者: SON 役職員等、SON 地区組織関係者  
参加者数: 約 80名
- ・セーフガーディング研修  
日 程: 11月5日(水)  
実施形式: Zoom ミーティング(オンライン)  
対 象 者: SON 役職員等  
参加者数: 29名
- ・高山塾(権利擁護に関する研修)  
日 程: 第1回 8月9日(土)、第2回 11月12日(水)  
実施形式: Zoom ウェビナー(オンライン)  
対 象 者: SON 地区組織関係者、SON 役職員等  
参加者数: 2回計 約 120名